

「宮古圏域版沖縄県つなぐシート」運用要領

1. 目的

自殺の背景には、精神保健上の問題だけでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などの様々な社会的要因があることが知られている。相談者が窓口では対応できない問題を抱えていると気づいた際、それぞれの社会的要因に対する適切な相談・支援の窓口へ円滑につなぐことで、自殺リスクの低減を図り、相談者の「生きる」を支援することを目的とする。

2. 「宮古圏域版沖縄県つなぐシート（以下、シート）」の特長

- ・適切な相談窓口につなぐために情報を整理できる。
- ・相談者・窓口対応者・紹介先機関が、問題点等を共通認識できる。
- ・適切な相談窓口で本質的な相談ができ、相談者の負担軽減に繋がる。
- ・相談に不慣れな窓口対応者でも、適切な相談窓口へ円滑につなぐことができる。
- ・「沖縄県つなぐシート(元様式)」の簡略化により、必要最小限の記載項目で適切な相談窓口につなぐことができる。
- ・医療機関での活用促進のため、医療機関版のシートを作成。
※医療機関で使用 → 「宮古圏域 医療機関版 沖縄県つなぐシート」
※医療機関以外の地域支援の場で使用 → 「宮古圏域 地域支援版 沖縄県つなぐシート」

3. 活用方法

- ①相談者が窓口では対応できない問題を抱えていることを確認する。
- ②シートの様式をダウンロードし、相談者から活用の同意（署名）を得る。
※様式完成後に宮古保健所のホームページに掲載予定。
- ③シートの相談者記入欄及び、対応者記入欄を記入。
- ④シート裏面の窓口一覧等から紹介先を選定する。
- ⑤電話などにより紹介先へ対応可否及び予約等を確認する。
※必要に応じシートを送信する。
※誤送信対策としてシートの個人情報情報は隠し、口頭で伝達する。
- ⑥シート原本は紹介元機関にて保管、相談者はシート写しを紹介先へ持参し相談する。

4. 留意点

- ・シートの活用は任意です。
- ・既に連携方法が確立済みの場合、当シートでの連携に改める必要はありません。
- ・自殺の背景には様々な要因があることから、自殺をほのめかす発言がない相談者に対しても、シートの活用をご検討ください。

【問い合わせ】

沖縄県宮古保健所 地域保健班 自殺対策担当
TEL：0980-72-8447 FAX：0980-72-8446